

木更津工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	廃棄物管理			
科目基礎情報							
科目番号	0092	科目区分	専門 / 選択				
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科	環境都市工学科	対象学年	4				
開設期	前期	週時間数	2				
教科書/教材	プリントを配付						
担当教員	上村 繁樹						
到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> 日本の廃棄物の現状についての概略を説明できる 廃棄物の処理処分についての概略を説明できる 廃棄物関係の法律についての概略を説明できる リサイクルとゼロエミッションの概略について説明できる 							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	全体像を理解し、応用的な問題に対処できる	全体像を理解している	理解していない				
評価項目2	全体像を理解し、応用的な問題に対処できる	全体像を理解している	理解していない				
評価項目3	全体像を理解し、応用的な問題に対処できる	全体像を理解している	理解していない				
評価項目4	全体像を理解し、応用的な問題に対処できる	全体像を理解している	理解していない				
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	廃棄物管理に関する全体像を理解し、応用的な問題に対処できる。本科目は企業で環境保全プラント関係の研究・開発、設計等の業務を担当していた教員が、その経験を活かし、廃棄物問題やその処分・リサイクル方法について講義形式で授業を行うものである。						
授業の進め方・方法	講義方式、主にパワーポイントを使用する。						
注意点	廃棄物問題は、現在刻々と変化している部分がある。そのため、新聞・ニュース等をよく注意し、関連する記事などを把握しておくことが肝要である						
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
前期	1stQ	1週	ガイダンス	学習内容の全体像を理解			
		2週	廃棄物の分類・処理・処分までの現状 1	廃棄物発生から処理までの現状			
		3週	廃棄物の分類・処理・処分までの現状 2	廃棄物発生から処理までの現状			
		4週	廃棄物の分類・処理・処分までの現状 3	廃棄物発生から処理までの現状			
		5週	日本の廃棄物関連法規の概要と廃棄物行政の現状 1	有害物質の処理			
		6週	日本の廃棄物関連法規の概要と廃棄物行政の現状 2	ごみの焼却とごみ発電			
		7週	日本の廃棄物関連法規の概要と廃棄物行政の現状 3	循環型社会の形成-循環型社会形成推進基本法			
		8週	日本の廃棄物関連法規の概要と廃棄物行政の現状 4	循環型社会の形成-循環型社会形成推進基本法 循環型社会の形成-廃棄物処理法			
	2ndQ	9週	日本の廃棄物関連法規の概要と廃棄物行政の現状 5	循環型社会の形成-容リ法			
		10週	日本の廃棄物関連法規の概要と廃棄物行政の現状 6	循環型社会の形成-家電リサイクル法			
		11週	日本の廃棄物関連法規の概要と廃棄物行政の現状 7	循環型社会の形成-食品リサイクル法			
		12週	日本の廃棄物関連法規の概要と廃棄物行政の現状 8	循環型社会の形成-建設・自動車リサイクル法			
		13週	リサイクルとゼロエミッション 1	循環型社会の形成-グリーン購入法			
		14週	リサイクルとゼロエミッション 2	バイオマス			
		15週	リサイクルとゼロエミッション 3	産業クラスター, LCAの概念			
		16週	リサイクルとゼロエミッション 4	環境経営			
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	20	0	80
専門的能力	10	0	0	0	0	0	10
分野横断的能力	10	0	0	0	0	0	10